

キャッシュレスが
おトクって
聞くけど…

最近よく聞く「〇〇ペイ」ってどうなの？

QRコード決済

テレビCMやWebサイトなどでよく見かける「〇〇ペイ」(QRコードを使った決済サービス)。
特に増税後は、キャッシュレスがおトク!と聞くこともあり、興味はあるけれど、登録方法や使い方が
ややこしそうで結局使っていない…なんてことはありませんか?
メリット・デメリットをよく知って活用すれば、あなたの暮らしに良い変化をもたらしてくれるかもしれません。



どうして流行っているの？

理由 誰でも簡単に利用できる!

01

スマホがあれば現金を持たずにお買物できて簡単・便利!

これまで/
従来のスマホ決済は、機種によっては使えない場合も…



QRコード決済なら/
アプリをインストールするだけでいいので、スマホユーザーなら誰でも利用可能!

理由 お店側の導入・設置が簡単!

02

従来のキャッシュレス決済(クレジットカードなど)と違い、お店側がQRコード決済を導入するのが簡単&安価なため、取扱店が拡大!

これまで/
クレジットカードの場合、レジやカードリーダーが高価なうえ、手数料もかかってしまう…

QRコード決済なら/
専用端末を用意しなくても、QRコードを提示するPCまたはタブレット・スマホを用意するだけで決済可能なサービスが充実!*

*決済方法によっては、コードリーダーなどの機器が必要な場合もあります。

理由 おトクなキャンペーンがたくさん!

03

QRコード決済は/
“XX%還元”など独自のポイント上乘せや、期間限定の“還元率UPキャンペーン”など魅力的な企画が数多くある。さらに、「キャッシュレス・消費者還元事業」の恩恵も受けられて、とってもおトク!

なんでおトクなの?そもそも安全面は大丈夫?

おトクのコツ

企業側にも、QRコード決済&ポイント還元をすることで、現金払いより継続的に使ってもらいやすいというメリットがあります。
また、おつりの準備や支払いにかかる時間も軽減でき、店舗の負担軽減につながるなど、良い面があります。

安全面のこと

適切な管理を行えば、現金よりもセキュリティが高いといわれています。自分のお金を守るために「知識認証(パスワード)」「所有物認証(スマートフォン)」「生体認証」など、複数の認証が設定されているかという点にも注目しましょう。

セキュリティの問題には国を挙げて取り組んでいます。

*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

QRコード決済の支払い方法は2種類!

01 自分でスマホ画面にコードを表示させ、店員に読み取ってもらう!(ストアスキャン方式)

アプリを起動してコードを表示し、お店の人に読み取ってもらって、支払い完了!



02 店舗側が提示したQRコードを自分のスマホで読み取る!(ユーザースキャン方式)

アプリの中からカメラを起動し、お店のQRコードを読み込んで、自分で金額入力。支払い完了画面をお店の人に見せて完了!



QRコード決済 利用の注意点

- 特典やキャンペーンの還元は、“ポイント還元”なのか“現金還元”なのか要確認!おトクと思っても継続的に使うものでなければ、ポイントの利用機会は訪れません。
- おトクだからと複数のサービスを使い、お金の管理ができなくなった…なんてことに注意!残高をチャージして使う場合はしっかりと管理を。
- 当然ですが、スマホの電池がなかったり電波が入らないと使えないので注意!
- たくさんあるQRコード決済サービス。今後なくなる可能性もゼロではありません。慎重に検討しましょう。

memo

QRコード決済に限らずですが、キャッシュレスは現金よりも「お金を使っている」という感覚を持ちにくいもの…ムダ使いが増えないように注意しましょう!

どう違う?!どっちが便利?!

電子マネー*と比べてみよう!

*専用カードなどで使える“電子化されたお金”のこと。交通系や流通系などがあります。

決済速度 電子マネーの方が速い!
QRコード決済は、アプリの起動時間や読み取りに時間がかかってしまう。

利用できる場所 QRコード決済の方が多く!
店舗の導入・設置の手軽さで、今後もどんどん拡大していく見込み。
ただ、電子マネーは公共交通機関や自動販売機でも使えるなど、便利な面もあるので、使い分けが大事です!

さらにおトク!

キャッシュレス・消費者還元事業

キャッシュレス・消費者還元事業は、2019年10月1日の消費税率引上げに伴い、需要平準化対策として、キャッシュレス対応による生産性向上や消費者の利便性向上の観点も含め、消費税率引上げ後の9カ月間に限り、中小・小規模事業者によるキャッシュレス手段を使ったポイント還元を支援する事業です。

〈ろうきん〉の取扱いで、対象となる決済サービス・対象カードはこちら

